



G700 で追加になった機能について

この度は G700 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、「G700 使用説明書（カメラ編）」で追加となった機能について説明しています。参照しているページは、「G700 使用説明書(カメラ編)」での関連ページです。

1 フォルダ作成機能の追加

撮影した画像を保存するフォルダを作成できるようになりました。フォルダの作成は、セットアップメニュー（ P.75）に新しく追加された「フォルダ作成設定」から行います。



フォルダの作成モードには、以下の 3 種類があります。

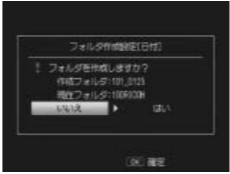
標準

3 桁の数字に、「RICOH」の文字列を加えたフォルダを作成します（例：101RICOH）。[標準] を選ぶと、現在使用しているフォルダと、新たに作成するフォルダ名が表示されます。[はい] を選んで MENU/OK ボタンを押すと、フォルダが作成されます。



日付

3 桁の数字に、4 桁の作成月日を加えたフォルダを作成します。数字と月日の間には「_」（アンダーバー）が入ります（例：101_0425）。[日付] を選ぶと、日付モードでフォルダを作成するかどうかを確認するダイアログが表示されます。[はい] を選ぶと、現在使用しているフォルダと、新たに作成するフォルダ名が表示されます。[はい] を選んで MENU/OK ボタンを押すと、フォルダが作成されます。



[日付] モードを選んでいると、前回の撮影時と日付が異なる場合、撮影した月日で自動的にフォルダが作成されます。ただし、日付をまたいでカメラの電源がオンになっている場合は、電源を入れ直すまで新しいフォルダは作成されません。このため、保存されているフォルダの日付と、画像の撮影日付が合わない場合があります。

ユーザー

3 桁の数字に、任意の 5 文字を加えたフォルダを作成します（例：101WORK1）。[ユーザー] を選ぶと、文字入力画面が表示されます。▲▼◀▶ ボタンで文字を選択し、MENU/OK ボタンを押して文字を入力します。文字入力後、ADJ/MEMO ボタンを押すとフォルダが作成されます。



注意

- 新しくフォルダを作成すると、撮影した画像はすべて新しいフォルダに保存されます。既存のフォルダに保存することはできません。
- フォルダ名の先頭の数字は、フォルダを作成することにインクリメントされます。内蔵メモリー、SDメモリーカード、SDHCカード使用時は最大「999」まで、SD WORMカード使用時は最大「510」まで作成できます。
- 内蔵メモリーまたは SDメモリーカード / SDHCカードを初期化すると、先頭の数字は「100」になります。
- [ユーザー] を選択してフォルダを作成する場合は、以下の点にご確認ください。
 - ⏏ ボタンを押しても、文字種の変更はできません。文字は「_」（アンダーバー）と「A～Z」、「0～9」のみ選択できます。それ以外の文字は、選択しても無効となります。
 - 文字入力エリアには、前回入力した文字列が表示されています。[Delete] で文字を削除してから、新たに文字を入力してください。
 - 5 文字以上は入力できません。
 - 文字は必ず 5 文字入力してください。入力した文字数が 5 文字未満の場合は、ADJ/MEMO ボタンを押してもフォルダは作成されません。
- [日付]、[ユーザー] で作成したフォルダに保存された画像は、同梱の DL-10 を使用してパソコンに転送することはできません。画像をパソコンに転送する場合は手動で行ってください。

2 [起動時フォルダ表示] の追加

セットアップメニュー（ P.75）に「起動時フォルダ表示」機能が追加されました。

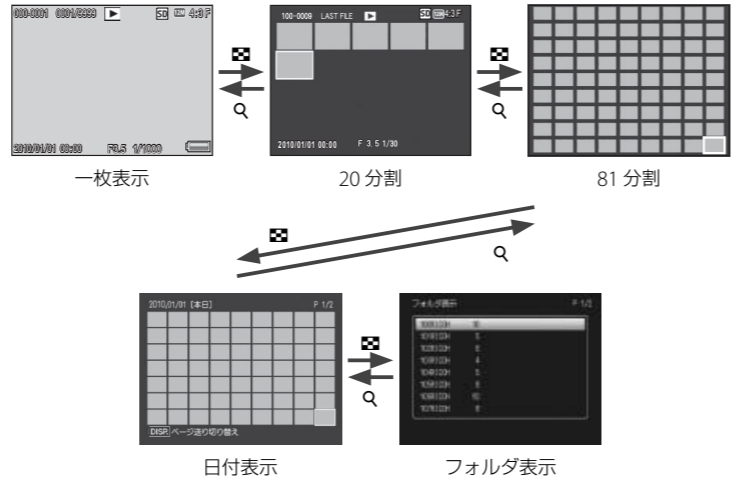


[ON] に設定すると、カメラの電源をオンにして撮影モードにした場合に現在のフォルダ名とフォルダ内に保存されている画像の枚数が画像モニターに表示されます。

3 フォルダー一覧再生機能の追加

再生モードの一覧表示（ P.34）で日付表示にしている場合に、再度 （サムネイル表示） ボタンを押すと、フォルダー一覧表示に変わります。

フォルダー一覧表示では、フォルダ名とフォルダ内に保存されている画像の枚数が表示されます。▲▼ ボタンでフォルダを選択し、Q（拡大表示） ボタンを押すと、選択したフォルダ内の画像が日付表示で一覧表示されます。



注意

フォルダ表示で選択したフォルダは、撮影モードに切り換えるとリセットされます。再度再生モードに切り換えると、現在画像を保存しているフォルダの画像が表示されます。

4 カメラメモの動画対応

動画にもカメラメモ（ P.53）を付加できるようになりました。カメラメモの使い方については、『使用説明書（ソフトウェア編）』P.19をご覧ください。

5 動画再生時の操作方法変更

動画再生（ P.52）時の操作方法が以下のように変更となりました。

早送り	再生中に [M] ボタンを押す
巻き戻し	再生中に [R] ボタンを押す
一時停止 / 再生	シャッターボタンを押す
スロー再生	一時停止中に [M] ボタンを押し続ける
スロー戻し	一時停止中に [R] ボタンを押し続ける
次のフレームの表示	一時停止中に [M] ボタンを押す
前のフレームの表示	一時停止中に [R] ボタンを押す
音量を調節する	再生中に ▲▼ ボタンを押す
カメラメモを付加する	ADJ/MEMO ボタンを押す

6 [画質・サイズ] 設定項目の追加

撮影設定メニュー（ P.55）の「画質・サイズ」（ P.56）の設定項目として、**[10M 3:2N]**、**[5M 4:3N]**、**[3M 4:3N]**、**[2M 4:3N]**、**[VGA 4:3N]** が追加されました。

設定項目				
12M 4:3F	12M 4:3N	10M 3:2F	10M 3:2N	5M 4:3F
5M 4:3N	3M 4:3F	3M 4:3N	2M 4:3F	2M 4:3N
1M 4:3F	1M 4:3N	VGA 4:3F	VGA 4:3N	

7 [CALC 画質・サイズ] 設定項目の追加

セットアップメニュー（ P.75）の「CALC 画質・サイズ」（ P.80）の設定項目として、**[12M 4:3F]**、**[12M 4:3N]**、**[10M 3:2F]**、**[10M 3:2N]**、**[5M 4:3N]**、**[3M 4:3N]**、**[2M 4:3N]**、**[VGA 4:3N]** が追加されました。

設定項目				
12M 4:3F	12M 4:3N	10M 3:2F	10M 3:2N	5M 4:3F
5M 4:3N	3M 4:3F	3M 4:3N	2M 4:3F	2M 4:3N
1M 4:3F	1M 4:3N	VGA 4:3F	VGA 4:3N	

9 [カメラメモ設定] 機能の追加

カメラメモメニュー（ P.87）に「カメラメモ設定」機能が追加されました。

カメラメモリストファイルがカメラに転送されている場合に [ON] に設定すると、カメラメモが使用できます。

注意

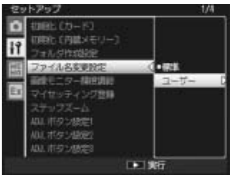
カメラメモリストファイルがカメラに転送されている場合でも、[OFF] に設定すると、カメラメモは使用できません。

10 二次元バーコード種類の追加

カメラメモメニュー（ P.87）の「バーコード種類」（ P.90）で選択できる二次元バーコードの設定項目として、[Aztec] が追加されました。

8 [ファイル名変更設定] 機能の追加

撮影した画像のファイル名の先頭 4 文字を任意の文字列に変更できるようになりました。ファイル名の変更は、セットアップメニュー（ P.75）に新しく追加された「ファイル名変更設定」から行います。[ユーザー] を選ぶと、文字入力画面が表示されます。▲▼◀▶ ボタンで文字を選択し、MENU/OK ボタンを押して文字を入力します。文字入力後、ADJ/MEMO ボタンを押すとファイル名が変更されます。



注意

- ファイル名の先頭 4 文字を任意の文字列に変更した場合、セットアップメニュー（ P.75）の「カード連続 NO.」（ P.79）の設定内容が以下になります。

設定項目	内容
ON (連番にする)	「任意の文字列 4 文字 + 4 桁の連番 .jpg」のファイル名が自動的に付きます。SDメモリーカードを入れ替えたときにも、前のカードからの連番でファイル名が付くように設定されています。ファイル名の下 4 桁が 9999 を超えると、新たにフォルダを作成して 0001 から連番で画像が記録されます。
OFF (連番にしない)	新しい SDメモリーカードをセットするたびに、「任意の文字列 4 文字 + 4 桁の連番 .jpg」のファイル名が付きます。ファイル名の下 4 桁が 9999 になると、それ以上は記録できません。

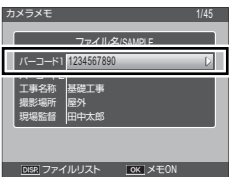
- DL-10 を使ってパソコンに転送する（ P.102）と、ファイル名は「RIMGxxxx.jpg」に置き換えられて保存されます。
- ⏏ ボタンを押しても、文字種の変更はできません。文字は「_」（アンダーバー）と「A～Z」、「0～9」のみ選択できます。それ以外の文字は、選択しても無効となります。
- 文字入力エリアには、前回入力した文字列が表示されています。[Delete] で文字を削除してから、新たに文字を入力してください。
- 4 文字以上は入力できません。
- 文字は必ず 4 文字入力してください。入力した文字数が 4 文字未満の場合は、ADJ/MEMO ボタンを押してもファイル名は変更されません。

11 [バーコードモード] 設定項目の追加

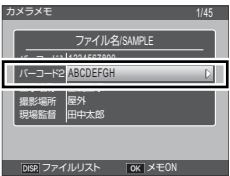
カメラメモメニュー（ P.87）の「バーコードモード」（ P.90）の設定項目として、[MODE4] が追加されました。

[MODE4] では、カメラメモリストの 1 番目と 2 番目の分類項目に一時メモとしてバーコードデータを登録できます。

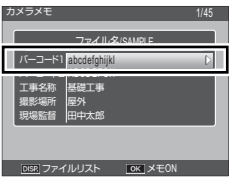
バーコードデータをはじめ読み取る場合は自動的に 1 番目の分類項目に登録されます。



2 回目に読み取ったバーコードは 2 番目の分類項目に登録され、カメラの電源をオフにするまで保持されます。



3 回目以降は、バーコードデータを読み取るたびに 1 番目の分類項目に上書きされます。



12 カメラメモの関連画像を拡大表示する機能の追加

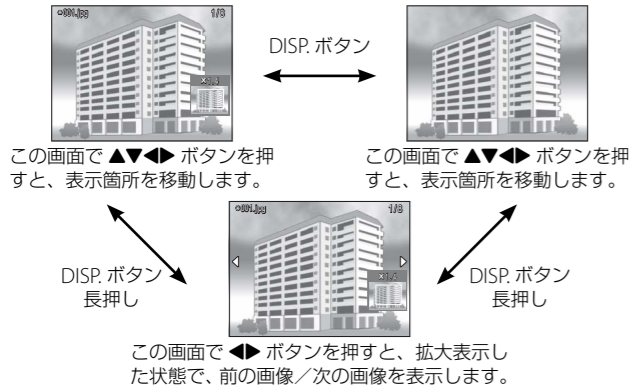
カメラメモ内容として設定した関連画像が拡大表示できるようになりました。

カメラメモの関連画像を設定、および表示する方法については、『使用説明書（ソフトウェア編）』P.38 をご覧ください。

撮影モードで、カメラメモの関連画像を表示中に **Q** ボタンを押すと、表示している画像を拡大表示することができます。

画像拡大時の動作	
Q ボタン/ ☒ ボタン	画像を1段階拡大/縮小表示します。 ▲▼◀▶ ボタンで画面内の表示箇所を移動できます。
MENU/OK ボタン	画像の倍率が8倍未満の場合は8倍、8倍以上の場合は16倍に拡大表示します。16倍で表示している場合、元のサイズに戻ります。

拡大表示中に DISP. ボタンを押すと、以下のように画面を切り替えることができます。



13 カメラメモの関連画像を一覧表示する機能の追加

カメラメモの関連画像が一覧表示できるようになりました。

撮影モードで、カメラメモの関連画像を表示中に **☒** ボタンを押すと、画面が20分割されて一覧表示されます。1枚表示に戻すには、ファイルを選んでから **Q** ボタンを1回押します。



この画面で ADJ./MEMO ボタンを押すと、選択した関連画像が設定されているカメラメモの[カメラメモ]画面に切り替わります。

メモ -----

カメラメモリストファイルにファイル名が登録されている関連画像のみ一覧表示されます。

14 Write Once メモリカードへの対応

使用できるSDメモリーカードとして、Write Once メモリカード(株式会社東芝製)に対応しました。Write Once メモリカードは、一度記録したらデータの改変や消去ができません。

注意 -----

- Write Once メモリカードを使用した場合には、以下の操作を行えません。

ファイルの削除	斜め補正	動画撮影	カメラメモ機能
画像サイズ変更	ファイル復元	トリミング	連写
階調補正	プロテクト	DPOF	カードの初期化
内蔵メモリーからカードへコピー			
- Write Once メモリカード使用時に作成されるフォルダ数は、最大510です。1つのフォルダには、最大510ファイルまで記録できます。

15 付属ソフトウェア EX1 の機能変更

付属ソフトウェアの EX1 でカメラメモ内容を元にしてファイル名をリネームし、任意のフォルダに転送する (ソフトウェア編 P.42) 場合に、対象のファイルとして静止画だけでなく動画も選択できるようになりました。